

カフェ	個所数	運営形態
中心型	町内 3か所	・地域のボランティアと社協が運営し、週1回開所。 ・町から委託されている認知症地域支援推進員と社協職員が常駐。
地域型	町内 15か所	・地域のボランティアが主体となって運営。 ・住田町共同募金委員会から運営費の助成あり。助成基準は、月1回以上通年が条件。運営費は1回あたり1,000円。

住田町社協では、住田町社協地域福祉活動計画に「CSWの配置」を明記し、各地区にCSWを配置（担当制）した上で、多様な地域住民のニーズを把握し、見守りや助け合いができる地域づくりを推進しています。これまでに5人の職員がCSW養成研修を修了し、そのうち4人がCSWとして配置されています。

平成26年に第1期の地域福祉活動計画を策定するため、住民との座談会、福祉関係機関や社協職員でのワークショップ等でニーズ調査を実施したところ、「もっと自由に出入りできて、居心地の良い場所があるといいな」「カフェが欲しい。おそろいのエプロン



参加者は七夕飾りを作りながら、おしゃべりを楽しんでいます。

でボランティアをしたい」という声があがってきました。そうした住民の声と、「認知症カフェを作してほしい」との行政の思い、「認知症だけでなく、障がい者も世代も関係なく寄り合えるカフェを作りたい」という住田町社協の思いから誰もが利用できる「よりあいカフェ」を始めることになりました。

よりあいカフェ第1号の「しょうわばし」は、商店街の空き店舗を借りました。住田高校の生徒が家具職人の指導のもとテーブルやベンチを作ってくれたり、近所の工務店や塗装店が無料で電気工事やペンキの提供をしてくれるなど、地域のみなさんと一緒に準備し、開所することができました。



住田町社会福祉協議会よりあいカフェ「しょうわばし」（中心型カフェ）

“無いなら作っちゃおう”
縁と縁のつながりで新たな福祉社会を
～地域福祉活動コーディネーター(CSW)の活動～



住田町社協総務課
菊池和子課長

住田町社協総務課長でCSWの菊池和子さんは「社協が地域の皆さんにやってくれたい」と働きかけても地域の「やりたい、やってみよう」が合致しないと「やらされている」になってしまいます。地域の困りごと

カフェには、中心型カフェと地域型カフェがあり、町内の各地区に開所してきています。カフェが開設されていない地域もありますが、カフェとは別の方法で独自の見守りができています。

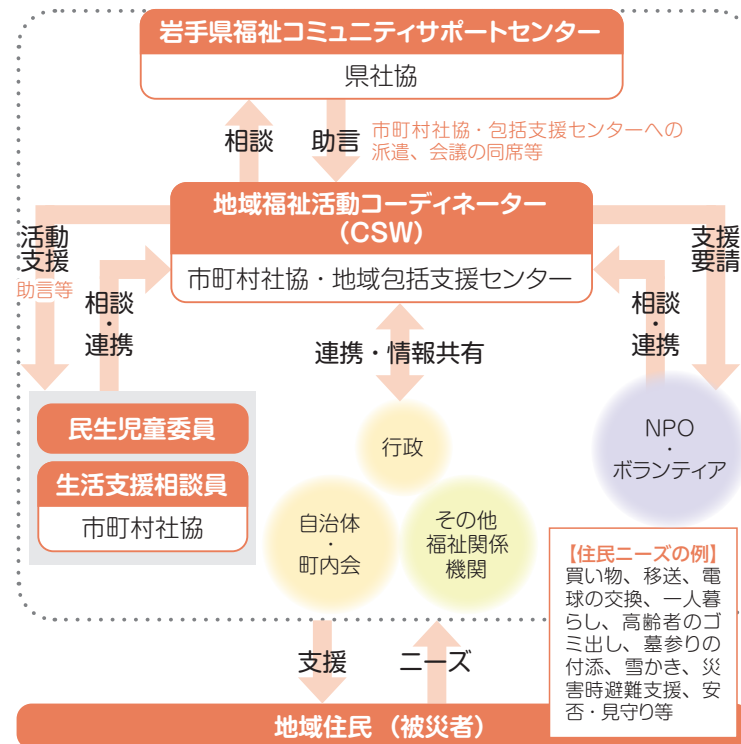
令和4年度、よりあいカフェでは313件の相談がありました。カフェでスタッフと顔見知りになり気軽に相談することで、困りごとの芽が小さいうちに対応できます。例えば、いつもカフェに参加していた方が顔を見せなくなったため、CSWが自宅を訪問したところ「曜日がわからなくなかった」と相談されたことから、すぐに包括支援センターにつなぎ、必要な支援を受けられるようになったケースもあります。



住田町社協OGの
菅野英子さん

住田町社協では、今年度が第2期地域福祉活動計画の最終年度であるため、第3期計画の策定に取り組んでいます。既に子育て世代の住民から子育て世代が集まれる居場所を作りたいという声も上がってきているとのこと。住民の声を傾け、町がもっと元気に、おもしろく、やんばあに、おだげあさまの町になることを目指しています。

とに対して、地域のために「やってみよう」という声を大切に、それを形にするお手伝いをするのが社協の仕事だと思っています。社協には「困った、や、やりたい」という声が届きます。これはありがたいご縁です。地域の声を大切に、ボランティア、関係機関、社協を卒業した先輩方など、沢山のご縁に感謝し、つなぎながら、これからも活動していきたいです」と語ってくださいました。



※住民支え合いマップとは…

地域の「気になる人（支援が必要と考えられる人）」とその人への住民の関わりをマップ（住宅地図）に落とし込み、支え合い活動の実施状況や支援が欠けている状況を把握し、その地域の取組課題を抽出するものです。地域住民とともにマップづくりを行うことで、単に要援護者に印をつけるだけではなく、地域福祉の実態を可視化でき、共通認識の下で課題解決に向けた話し合いができます。

地域福祉活動コーディネーター（CSW）は、困りごとを抱えている人や支援が必要な人等の地域住民の生活課題を把握し、課題解決に向けた見守り体制を築くために、地域のつなぎ役として関係機関や団体等と連携し、地域福祉活動を推進しています。

岩手県社会福祉協議会では、毎年、岩手県から委託を受けて、市町村社協、地域包括支援センター、行政等の職員に対しCSWの養成研修を開催し、これまでに503人（平成21

年～令和5年）のCSWを養成しています。また、養成研修を修了したCSWが地域でより効果的な実践活動ができるよう、住民支え合いマップ（※）の作成支援や地域づくり実践研修会を開催しています。

今年度も同事業を継続実施するとともに、CSW養成研修修了者のネットワークの構築のためメーリングリストの普及、活用やCSWの取組実施状況を把握し、情報提供していきます。